

風力発電は地球温暖化防止の“切り札”なんかじゃない!

Q1 地球温暖化の中で、クリーンエネルギーとして風力発電は有望なのではありませんか?

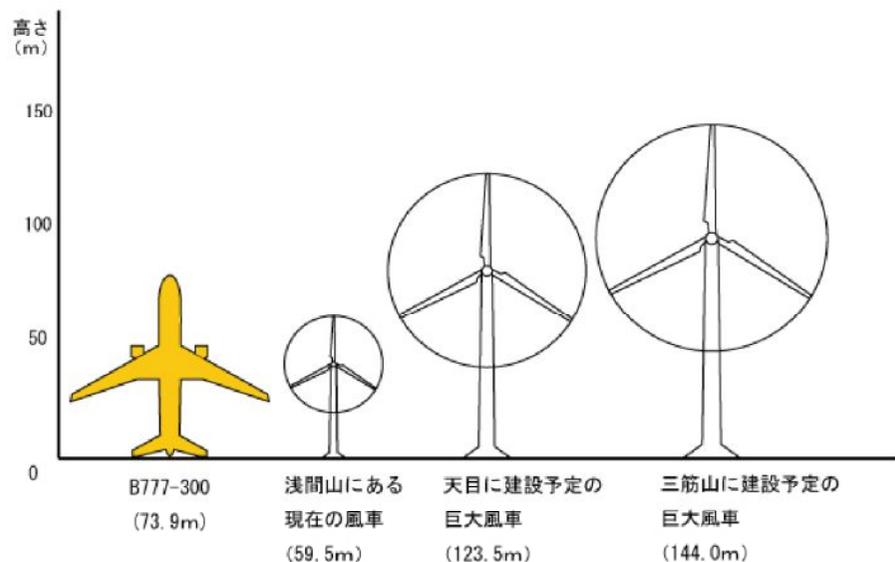
地球温暖化は化石燃料から発生するCO₂が原因とされ、新エネルギーへの転換が必至といわれています。しかし風力発電は巨大な鋼鉄の風車や建設のための道路を作るために費やすエネルギーこそ膨大で、森林の伐採や環境破壊からむしろCO₂発生を促進する状況も考えられます。新エネルギーではより環境に優しい太陽光発電やバイオマス発電、燃料電池など様々な研究がされています。

Q2 風力発電の欠点は?

一定の風が平均的に吹く欧米に比べ、自然環境の厳しい日本には不向きとされています。台風や落雷で度々故障を起こしたり、突風で止まったり、風力発電で得られる電力は不安定で、建設に見合う電力が得られるかさえ不明です。風速80メートルで倒壊した例もあります。自然環境を破壊し、発電が不安定な風力発電は将来の主力にはなり得ないのです。

Q3 大型風車ってどのくらい?

三筋山周辺の計画は国内でも最大級の1,650kw、高さは約140mです。これを運搬するトレーラー車が三筋山山頂まで登る様子を想像してみてください。回転する面積は学校のグラウンドほどもあります。



Q4 町に売電収入は1円もないと聞きましたが、ではどんなメリットがあるのですか?

風車施設の固定資産税が入ることがメリットです。三筋山については年間150~200万×7基=1050万~1400万円の税収が見込まれています。(議会での町長答弁より)町の年間予算の0.3%ほどです。さらに固定資産税は、減価償却で年々減少し続けます。25基建つ計画ですが、東伊豆町へは7基分、残り18基分は河津町の税収になります。道路は全て東伊豆町内を通り細野高原の生態系を切り裂くのに、税収の多くは河津町に入る。隣町に笑われているのではないのでしょうか。

Q5 細野高原には県の天然記念物の湿原や入谷水下の飲み水である熊口水源がありますが、大丈夫ですか?

運搬のための道路を山頂まで、さらに尾根筋を削って5メートル道路を造ります。35階建てビルに相当する巨大な構築物を25基も建てるのです。大規模な自然破壊となって、生態系は大きく崩れます。県指定の天然記念物の湿原も枯れることになり、熊口水源も大きな影響を受けます。貴重な植物や絶滅危惧種の猛禽類も心配です。パラグライダーどころではなくなるし、風嫌いのゴルファーが風車に向かって打つのを嫌がれば、営業にひびくのは明白です。地元の犠牲は計り知れません。

Q6 国立公園の中に建設できるのでしょうか?

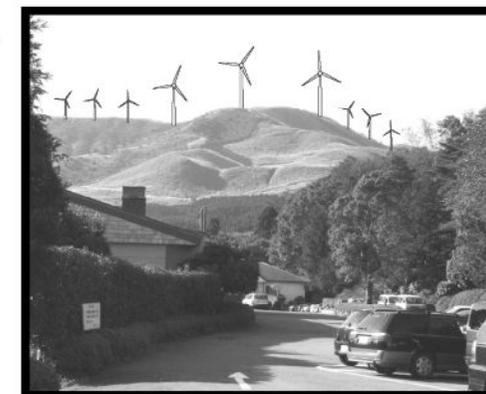
昭和30年に伊豆地域が編入し、現在の富士箱根伊豆国立公園が制定されました。国立公園の自然環境を守るために、国ではさまざまな施策を行っていて、たとえば、ウミガメが卵を産みにくる砂浜などには自動車の乗り入れを禁じたり、尾瀬、上高地などではマイカーの乗り入れを禁じる措置がとられています。東伊豆町では「美しい自然を守り、美しい町を作ります」と町民憲章にうたっています。その姿勢はどこへ行ってしまったのでしょうか。

Q7 耐用年数があるとききましたが?

耐用年数は17年とされ、施設は撤去し元通りに復元することになっていますが、落雷や台風で倒壊した例も少なくありません。尾根の頂上から十数メートル掘り下げ基礎を造成しますが、その撤去には建設するよりも費用がかかると言われています。撤去が不可能になった場合の保証は定かではありません。羽の折れた風車の残骸が永く残るような悪夢を冗談と笑えません。

Q8 人家への影響はどうでしょう?

大峰山の真下に数世帯の住宅があります。頭上で140メートルを超える風車が1日中グルグル回るので、影響ないはずがありません。大気を切り裂くブレードの音、電気を起こすモーター騒音、微弱な振動から発生する低周波など、人体に深刻な事態が心配されます。「もう住めないかも。子供が心配」と不安な声を聞きますが、町当局はどう責任を取るのでしょうか。



巨大風車が見える
ゴルフ場?
※写真はイメージです

Q9 いままで住民に説明していたの?

前町長が就任中に構想してきた風力施設ですが、贈収賄事件で逮捕の後、白紙になるどころか住民に説明が無のまま推進されようとしています。事業主体が町ではなく民間企業だから、というのが町の見解のようです。しかし、有史以来の一大事なのに町民に相談がないのはいかがなものでしょうか。一日も早くきちんとした住民説明をするべきです。

住民の意見を聞かない風力発電なんて…! 今こそ皆さんの声が必要です!

■ウラ面もご覧下さい

風車問題を考える住民の会 www.7a.biglobe.ne.jp/~yunami/

皆様のご意見をお寄せ下さい。

代表 藤井広明 TEL&FAX 95-3425 Email:yunami@mve.biglobe.ne.jp
森山直介 Email:mori1115@ai.tnc.ne.jp